

令和5年度 環境活動スタート事業

1 実施校

福島市立岳陽中学校（3学年）

2 実施日

令和5年7月12日（水曜日）

3 内容

「福島県における気候変動と防災気象情報の利活用」をテーマに、気象庁福島地方気象台調査官の桜井 美菜子氏による講演会を行いました。地球温暖化の基礎知識、地球温暖化に伴う日本・福島県の気候の変化、防災気象情報の利活用方法など。今、私たちができることは何かを分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

このまま地球温暖化が進むとリンゴが栽培できなくなる可能性があることを知ってショックでした。そんなことが起きないように今日から自分でできることを実行し、改善、工夫していきたいと思いました。少しでも地球温暖化を抑えられるようにしていきたいです。

福島県で今、起こっていることや、過去に福島県で何があったのかなど分かりやすく理解しやすいように資料など提示してくださり学べて良かったと思います。ハザードマップと警戒レベルは知っていましたがキキクルは初めて聞いたし災害に備えるにあたって使いやすそうだったので調べてみようと思いました。

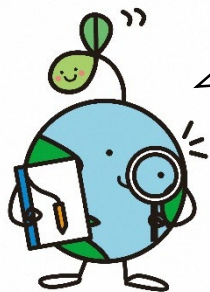
福島の各地域に分けて、現在の気温や、地球温暖化対策をしなかったら、どのくらい気温が高くなるのか知ることができた。地球温暖化になると、大雨が降ったり、今よりも降水量が増えてしまうことを知れました。今よりも、夏の暑さが厳しくなるのは嫌だし、大雨による災害が大きくなるのは嫌だから、改めて地球温暖化に、一人一人取り組んで行かないといけないのだなと思った。自分のできることから対策をしていきたいと思いました。

世界で温室効果ガスが増えてしまっていて地球温暖化が進んでしまっていて大変だと分かりました。みんなで協力すれば地球温暖化を止めることができると信じて環境問題に取り組んでいきたいです。

世間でも話題に上がることの多い「地球温暖化」というワードについて、表面上だけでなく、問題の原点や未来の予測など、その内面を知ることができてよかった。福島を中心として近年の現状をグラフなどで示していただいたことで、より身近な問題として感じられるようになった。

「地球温暖化」という言葉は前々から知っていましたが、どこか現実味がありませんでした。しかし、今回のお話を聞いて、「地球温暖化」は他人事ではないと思いました。自分でも「地球温暖化」やその他気象問題について調べて、出来る対策をしていきたいです。

今までの環境活動学習によって得た知識をもとに、より詳しく福島県内の環境についてや、地球温暖化による異常気象、事前災害について学ぶことができました。この問題は決して他人事ではなく、近い未来、自分にも大きく関わってくるものだと現在の世界の危機的な状況についても再確認できました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- 使わない部屋の電気を消す

違う部屋に行く時や誰もいない部屋の電気をできるだけ消すことができました。たまに忘れてしまうこともあったりしましたがしっかりできました。これからも続けて他のこともやってみたいと思います。



- 食べ残しの削減
- リサイクル
- マイバッグの活用

ごはんを食べ残さないようになった。その他にもペットボトルのリサイクルやマイバッグの利用なども実践できました。



- 節電
- 節水

私は、節電のため、自分の部屋のエアコンをなるべく付けずに、リビングで過ごすようにしました。そのため母からはとても感謝されました。この1つの行動が、地球温暖化を防ぎ、地球のためになるのであれば、続けていくべきだと思います。



- 今日の講演で身に付けた知識や内容を身近な人に話すこと

夏休みという家族とのコミュニケーションを取る時間が増やせるチャンスを使って、「地球温暖化」に関連したニュースなどについてお互いに意見を交換したり、学んだ知識と結びつけて更に発展的な問題にも目を向けることができました。これからも、そういった話題に対する理解を深め、今できることを探して実践していきたいです。

